

# センターだより

平成29年7月12日 No.59  
東濃西部少年センター TEL23-3455 FAX26-8813

所 長 加 納 昭 仁  
指導主任 坂 井 正 昭  
事 務 柴 田 弥 生

## 平成29年度のスタート

5月13日(土)に「とうしん学びの丘“エール”」において東濃西部少年センター少年指導員の委嘱式を行うことができました。お忙しい中、ご出席いただき細かな配慮や気遣いをいただきましてありがとうございました。この委嘱式において、青少年の健全育成に関わる各種団体から推薦いただきました総勢199名の方々に、管理者である多治見市長古川雅典様より3地区の地区長様に委嘱状が手渡されました。この199名の内訳を見てみると次のようになります。



### 平成29年度 東濃西部少年センター少年指導員内訳

	多治見市	瑞浪市	土岐市	合 計
民生児童委員・主任児童委員	8	2	4	14
保護司会	6	0	2	8
市民会議・町民会議・育成会	25	8	9	42
更生保護女性会	3	7	2	12
少年センター推薦	9	2	5	16
小学校教員	13	2	8	23
小学校PTA	13	7	8	28
中学校教員	8	5	6	19
中学校PTA	8	3	5	16
高等学校教員	4	3	4	11
高等学校PTA	4	3	3	10
合 計	101	42	56	199

多くの関係機関の協力を得ながら199名の方々に青少年の健全育成にご尽力いただくこととなります。しかし、各関係機関から少年指導員を推薦していただくにあたって、高齢化・人材不足など、様々な課題を抱えながらご支援いただいている現状もあります。大変感謝申し上げます。

尚、委嘱式への出席状況は以下のようです。

	多治見地区	瑞浪地区	土岐地区	全 体
委嘱式出席数	85	32	38	155
委嘱式欠席数	16	10	18	44
委嘱式出席率	84.2	76.2	67.9	77.9

全体の出席率が77.9%と昨年度の出席率を上回っていました。休日にもかかわらず、多くの方々に参加していただけたことに感謝申し上げます。

## 多大なご尽力に感謝申し上げます！

5月13日(土)少年指導員委嘱式の折に、多年に渡りご尽力いただいた方々に、四つの表彰を行いました。

特別表彰状・・・15年以上で退任される方(今回なし)

管理者感謝状・・・5年以上で退任される方

管理者表彰状・・・少年指導員として5年を経過した方

所長感謝状・・・3年以上で退任される方

所長表彰状・・・少年指導員として3年を経過した方



敬称は略してあります。

地区	被表彰者名	所属	年数	被表彰者名	所属	年数
多治見	加藤 昭二	市之倉校区市民会議	9年間	古川 真	池田校区市民会議	6年間
	今村嘉津子	更生保護女性会	6年間	安藤 暢浩	小学校教員	6年間
	小畑 正樹	高等学校教員	6年間			
土岐	駒屋 浩二	小学校教員	6年間			
多治見	野戸 康子	精華校区市民会議	5年間	河地 隆	共栄校区市民会議	5年間
	西村 正明	根本校区市民会議		石原 元	保護司会	
瑞浪	小木曾文和	稲津町民会議		林 さき子	更生保護女性会	
土岐	鬼頭 博英	泉町育成会		山下 広美	保護司会	
多治見	小林健次郎	民生児童委員	3年間	長谷川 修	民生児童委員	3年間
	小境 一男	民生児童委員	3年間	岩本真知子	民生児童委員	3年間
	藤田 佳子	民生児童委員	3年間	林 弘	中学校教員	3年間
	大島紳三朗	中学校教員	3年間	伊佐治隆志	小学校PTA	3年間
	赤穂 直文	民生児童委員	4年間			
瑞浪	中山 浩一	陶町民会議	3年間	加藤 布久	民生児童委員	3年間
土岐	山田 鏡一	中学校教員	3年間	小林 義治	中学校教員	3年間
多治見	佐光 雅哉	南姫校区市民会議	3年間	奥村 一枝	保護司会	3年間
	曲直瀬健治	小学校教員		瀧本 宗明	センター推薦	
	村瀬 正一	センター推薦				
瑞浪	藤田 修二	釜戸町民会議		安藤 恵子	更生保護女性会	3年間
	重永 浅枝	更生保護女性会		柴田 芳宏	高等学校PTA	
土岐	瀧瀬 一好	泉町育成会		梶田 竜彦	専修学校教員	
	小川まさよ	センター推薦	斎藤 真之	センター推薦		
	宮木 伸吉	センター推薦				

今回の東濃西部少年センター少年指導員委嘱式は、「とうしん学びの丘“エール”」を会場として行いました。東濃信用金庫のご協力に感謝申し上げます。



# 新任少年指導員研修会

6月3日(土)の10:00から、平成29年度の新任少年指導員研修会をパロー文化ホールの2階大会議室で行いました。休日にもかかわらず、102名の新任少年指導員の約半数である50名の参加で実施することができました。

研修内容は・・・

- ・センター所長挨拶及び少年センターの概要説明と少年指導員の目的について
- ・少年指導員の心得について
- ・ケーススタディー  
5つの具体的事例における「声かけ」のポイントをグループで協議
- ・DVD視聴  
「声かけの基本とその実践」
- ・質疑応答



今回の研修内容は、昨年度までの講義形式ではなく、ケーススタディーの中で「自分の考えを伝える」「他の人の考えから学ぶ」というグループ協議の形式を取り入れてみました。

少年指導員の「声かけ」の基本は、「挨拶」「会話」「励まし」「ねぎらい」「ほめる」としてはいますが、好ましくない場面を目にすることがないとも限りません。以下の具体的な事例について、グループごとに考えて頂きました。

事前に坂井指導主任から「少年指導員の心得」で、「挨拶」「会話」「励まし」「ねぎらい」「ほめる」という「声かけ」の基本について説明を受けていたので、この基本に沿って具体的な事例をとらえていただけたようでした。多くのグループで、「まずは挨拶から入って、上から目線ではなく子どもの目線に合わせて会話をしたい。」「注意する前に、『じょうずだね』『楽しそうだね』といったように、状況を受け入れる言葉をかけて会話に入りたい。」「不安感をあおることなく、身分を早めに伝えて安心させたい。」など、子どもの心に寄り添った「声かけ」のポイントを具体的に考えていただきました。中には、寸劇で発表していただいたグループがあり大変好評でした。

- 喫煙少年への声かけのポイント
- 駅周辺でたむろしている少年への声かけのポイント
- 自転車の2人乗りへの声かけのポイント
- 路上でのボール遊びへの声かけのポイント
- 一人ふさぎ込んでいる少女への声かけのポイント

少年センターとして、以下の点についてお願いしました。

自転車の乗り方【二人乗り・無灯火・道路の右側走行・ながらスマホ等々】で道路交通法違反であるということは必ず伝える。

たむろ・喫煙の状況で、ひどい場合は警察に通報する。委嘱式で配布した「少年補導の手引き」を参考にする。地域で子供が活躍している場を探して「声かけ」につなげる。



## 高校生による啓発活動

東濃西部少年センターの啓発活動に、東濃西部三市にある県立・私立高等学校10校に取り組んでもらっています。それぞれの学校が、MSリーダーズの活動・高校生のびのびプロジェクト・生徒会活動などにかかわらせて取り組んでもらっているところです。昨年度は、のべ200名ほどの生徒が参加してくれました。先生方も多く参加していただき、生徒にとって良い経験になるからと好意的に受け止めていただきました。



### 平成28年度の啓発活動への参加者数

生徒の参加のべ人数	先生の参加のべ人数	P T Aの参加のべ人数
198	37	4

今年度の計画は、次のようになっています。

多治見市	第1回	第2回	瑞浪市	第1回	第2回	土岐市	第1回	第2回
多治見	11/9	2/8	瑞浪	6/30	10/20	土岐紅陵	7/12	12/22
多治見北	7/13	未定	中京	9/19	12/13	土岐商業	9/14	12/7
多治見工業	9/14	12/14	麗澤瑞浪	6/28	未定	東農カレッジ	6/22	10/26
多治見西	10/12	1/11						

詳細は現段階では未定な部分がありますが、三市の駅周辺において実施する予定です。実施時間については、多治見駅では概ね17:30から、瑞浪駅及び土岐市駅では17:00前後の時間帯になるかと思えます。啓発カードやプリントの入ったポケットティッシュや団扇、カイロなどを配布します。交通安全（特に自転車の違反）、薬物乱用防止、マナーアップの呼びかけなどを行っていきます。

### 「MSリーダーズ」・「MSJリーダーズ」の動き（岐阜県警）

高校生による「MSリーダーズ」は平成14年度から、中学生による「MSJリーダーズ」は平成28年度から県内全域に渡って活動が展開されるようになりました（高校の実施校は107校で7,878人が活動に参加、中学校の実施校は182校で7,515人が活動に参加）。特に、今後は「MSJリーダーズ」の動きと当少年センターの取り組みとどう連携していくことができるのか検討していきたいと考えています。そのために、現在いろんな情報収集に努めているところです。

- ・今年度、中学校と高等学校とが連携して啓発活動に取り組みたいという情報
- ・11月の「子ども・若者育成支援強調月間」セレモニーへの参加
- ・昨年度より実施している中高の生徒による挨拶運動
- ・花火大会後のボランティア清掃活動
- ・「日本一きれいな町づくり」への自主的な参加
- ・地域での「花いっぱい運動」への参加 など



# 岐阜県警察本部 平成28年のまとめから

## 非行少年の年別推移 (岐阜県)

		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
非行少年	刑法犯少年	1,699	1,487	1,451	1,214	1,126	1,010	897	694	551	414
	(人) 指数	100	88	85	71	66	59	53	41	32	24
	特別法犯少年	88	83	80	58	82	108	99	101	85	84
	(人) 指数	100	94	91	66	93	123	113	115	97	95
	＜犯少年	6	11	18	19	15	21	16	10	1	6
	(人) 指数	100	183	300	317	250	350	267	167	17	100
	総数	1,793	1,581	1,549	1,291	1,223	1,139	1,012	805	637	504
	(人) 指数	100	88	86	72	68	64	56	45	36	28

## 平成26・27・28年 少年の検挙・補導状況 (多治見署管内)

少年別		26年計	27年計	前年比	28年計	前年比	
非行少年	刑法犯少年	犯罪少年	61	24	-37	27	3
		触法少年	9	10	1	16	6
		小計	70	34	-36	43	9
	特別法犯少年	犯罪少年	6	6	0	9	3
		触法少年	0	1	1	0	-1
		小計	6	7	1	9	2
	＜犯少年		1	0	-1	0	0
	合計		76	41	-35	52	11
	不良行為少年		1,025	936	-89	1404	468

平成19年の非行少年総数を、100として指数で見ると、平成28年は28と大幅に減少していることがわかります。平成14年の戦後第4のピーク以来、岐阜県の非行少年数は着実に減少してきています。

しかし、多治見署管内では非行少年数・不良行為少年数が、昨年は増加しています。その中身は、有職・無職少年による喫煙・深夜徘徊・暴走行為が多くを占めています。声かけ活動とは時間的に違いがあるかと思いますが、情報として知っておってください。

## 7月は青少年育成強調月間

7月は、青少年の健全育成にかかわって様々な活動が全国的に展開されます。東濃西部三市（多治見・瑞浪・土岐）においても、それぞれに活動がありました（予定されています）。



### 社会を明るくする運動

多治見市では、7月2日（日）に多治見保護区保護司会が主催しての「社会を明るくする運動」セレモニーが、多治見駅前広場において9：30より行われました。

【他に市内6か所で実施】

この運動を推進するにあたっては、多治見市長を委員長とする

推進委員会があります。委員は、市長の他に多治見警察署長、区長会長、各区長、関係機関、団体長などから構成され、この運動に参加しています。この委員会の事務局を多治見保護区保護司会が担っています。セレモニー終了後、啓発グッズを駅利用者に配布しました。少年センターからは、所長と指導主任が参加してきました。

7月11日（火）には、まちづくり市民会議主催の「挨拶で絆の日」の取り組みを実施しました。

### 土岐市あいさつデー

土岐市では、昨年から実施されている「土岐市あいさつデー」の取り組みを、7月4日（火）の午前7時～8時＝児童生徒の登校時間帯に行われました。

子どもたちのために、日頃から、みんながあいさつでつながっている、地域の絆を作っていこうということで、青少年育成市民会議が中心となって実施しています。「おはよう」「おはようございます」「行ってらっしゃい」「行ってきます」「気を付けてね」などの声を、昨年よりも大きな声で地域に響かせようと取り組みました。



### 『青少年の非行・被害防止全国強調月間』



昨年度 平成28年7月23日（土）の様子

瑞浪市では、7月22日（土）に「きなあつた瑞浪店」において、11：00から開会セレモニーが予定されています。

参加団体は、瑞浪市市民会議本部役員・事務局委員、瑞浪保護区保護司会、瑞浪市酒類小売販売業組合、MSリーダーズ（中京学院大学附属中京高等学校）、東濃西部少年センター。

セレモニーの後に、高校生も一緒になって啓発グッズを配布し、声かけ活動を展開していく予定です。